



SENDAI光のページェント

目次

- | | | | |
|------------------|-----|-----------------|-------|
| ■新春のご挨拶 理事長 石川浩史 | 1 | ■老後に必要なお金の授業 | 9 |
| ■市長祝辞 仙台市長 郡和子 | 1 | ■認知症と向き合ってみましょう | 10 |
| ■集まれ!巳年生まれ!! | 2 | ■仙台いいどご行ってみっぺ! | 11 |
| ■区民まつり参加報告 | 3-4 | ■互助会のサークル活動紹介 | 12 |
| ■女性会員活躍中!! | 5 | ■事務局からのお知らせ | 13-14 |
| ■会員の『声』 | 6 | ■会員の『声』募集 | 15 |
| ■会員の活動紹介 | 7-8 | ■編集委員から | 15 |



新春のご挨拶

あけまして
おめでとうございます

理事長 石川 浩史



明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

令和7年は「乙巳」の年。今まで積み重ね努力してきたことが、芽吹き花開く勢いのある年になると言われています。

インボイス制度の導入、「フリーランス法」の施行と続いた環境変化への対応も、「新しい契約方式」への移行を残すのみとなりました。また、65歳までの雇用機会の確保や、70歳までの就業確保の努力義務化などにより、会員の平均年齢は年々上昇しております。このような変革の波にしなやかに対応しつつ、持続可能な

シルバー人材センターを目指し、職員一丸となって頑張っております。

センター事業の活性化のためには、何といても会員の拡大が欠かせません。全国的に会員数の減少に歯止めがかからない中、当センターの会員数は増加傾向にあります。女性会員の割合は全国平均よりも低くなっています。今年、東北ブロックで初めてのシルボンヌ全国大会が、宮城県で開催されることから、女性会員の拡大にもいっそう力をいれてまいります。

結びに、本年が皆様にとりまして、幸多く穏やかな年となりますことをご祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



市長祝辞

謹んで新春の
お慶びを申し上げます

仙台市長 郡 和子



あけましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、7年ぶりに本市で開催された東北絆まつりを始めとして、シルバー人材センターの会員の皆様にもご協力を頂きながら、市内各地でイベント等が催され大いに賑わった年となりました。本年も引き続き、皆様が健康で安全に過ごすことができる一年となりますよう願っております。

さて、我が国における少子高齢化の急速な進展は、人口構成や社会構造の変化に伴う経済社会の担い手不足など、様々な課題をもたらすことが懸念されております。一方で、平均寿命の延伸に加えて、高齢者の体力的な若返りも指摘されており、年齢によって区別

することなく、「支える側」にも「支えられる側」にもなれる社会を構築していく必要がございます。

こうしたことから、高齢者の皆様が培われてきた経験や能力を社会で存分に発揮していただくことは、本市の持続的発展を志向する上で不可欠と考えております。貴センターにおかれましては、今後とも会員の皆様とともに活力あふれる豊かな杜の都の実現に向けて、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

本年もシルバー人材センターの更なるご発展と、会員の皆様のますますのご活躍、ご健勝を心より祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



集まれ! 巳年生まれ!!



11月15日(金)、事務局だよりにて募集した巳年生まれの会員10名(S16年生れ8人・S28年生れ2人)が、榴ヶ岡市民センターに集まりました。

天気予報は雨でしたが雨は降ることなく、むしろ晴れ間が見える天気、集まった巳年の皆さんの幸運が垣間見えました。

緊張気味? な自己紹介!

まずは集まった皆さんで自己紹介。名前や年齢、就業状況の他に、「巳年だけど何よりへビが嫌い」などジョークを交えた自己紹介に、皆さんの表情が柔らかくなりました。



秋田
生まれの
山形です

巳年ならではの事柄や過去を振り返って...

「巳年はお金に困らない」とよく言われますが、実際は「そんなことなかったね...」「でもこれからに期待だね!」と前向きな皆さんでした。

及川さんは、自身の生誕からこれまでに起きた出来事を時代ごとにメモした年表を作成し持参されました。それを見ながら過去を振り返ると、昭和16年生まれの皆さんは第2次世界大戦中に生誕し、幼くして家族を失うということも経験された世代。当時の記憶は薄いようでしたが、ご両親や祖父母様から聞いた話を含め、戦時中の様子を語ってくれました。

昭和16年12月8日に真珠湾攻撃により太平洋戦争が開戦。開戦後は徴兵がかかることから「子どもを産むなら今のうちに」という雰囲気もあり、そのためか同年代の方は多いのかもしれない。そんな世代だからこそ、仲間が多く強い結束がある。「現在でも毎年同級生の集まりがあり、京都まで足を運んで仲間に会いに行っている」と石崎さんは語られました。

一方昭和28年生まれは、そんな激動の時代を経験した先輩方から「花のニツパチ」と皮肉めいて呼ばれていたことが悔しかった、と語られていました。



ハナシは未来へと★年男・年女としてどんな1年にしたいか聞いてみました。

- 今は83歳だが、年齢の10の位と1の位を足して「11」になる年齢を乗り越えると、次に「11」になるまで生きられるというハナシがある。次の92歳まで元気に生きるためのスタートダッシュを切る1年にしたい。
- 新年の抱負はアンチエイジング! 洋画を字幕なしで見ることや、本を読むこと。そしてYouTubeを見て勉強や運動などを継続していきたい。
- ここ最近体の調子が悪く、そろそろ就業を辞めようかと何度も考えたが、同年代の同志に励まされ続けることができている。その同志と最後まで一緒に就業したいので、粘り強い一年にしたい。
- 薬や通院の話題やお墓の話が出てこず、前向きなお話が多くてすごいなと感じた。そんな皆さんからさらに元気をもらった。1日10,000歩目指し、最低でも7,000歩は継続していきたい。



元気でポジティブな巳年の皆さん、
12年後にまた集まりましょう!

《後列左から》柴崎美恵・伊藤悦・千葉道子
大江田祐一・石崎克巳・藤ノ木勝
山形吉信・森下光康・及川正教・板垣昌孝(敬称略)



区民まつり、仙台市高齢者生きがい健康祭に 参加しました!



今年も区民まつり、仙台市高齢者生きがい健康祭などのイベントに参加しました。

会員の手作り作品の販売だけでなく、広報委員による積極的なPR活動で、幅広い世代の方々に「シルバー人材センターってどんなところ?」と関心を持っていただける機会となりました。

泉区

第42回 泉区民ふるさとまつり

8月24日(土)、仙台市泉区の七北田公園にて開催された「泉区民ふるさとまつり」に、初の試みとして「デジタルサイネージ(電子看板)」を利用してセンターの活動を紹介するとともに、「こどもが遊べるコーナー」を設置して参加しました。

昼前後の大雨に参加者の出足が心配されましたが、次第に天気も回復し、シルバーのブースには大勢のこどもたちが集まって、「輪投げ」「スーパーボールすくい」を楽しむ姿が見られました。

一緒に訪れたご家族の方々へ会員募集のチラシやノベルティグッズをお渡しし、センターのPR活動を行いました。



青葉区

第26回 仙台市高齢者生きがい健康祭



9月28日(土)、緑が美しい勾当台公園いこいの広場にて開催。シルバーのブースでは会員による素敵な手作り作品を展示販売いたしました。また、新たな試みとして、広報委員によるスマホ無料相談コーナーを設けました。

最初はスマホの使用に緊張や不安を抱えていた方も、実際に操作方法を体験すると「あっ、できた!」と嬉しそうな笑顔を見せてくれました。

「教えてもらって良かった」という声もたくさん聞けて、講師役の広報委員も喜びを感じるとともに、一度基本的な操作ができるようになると「こんなに簡単に操作できるんだ」と驚かれる瞬間に立ち会えた事に、

スマホが持つ可能性を改めて実感しました。

「デジタルを活用していくこれからのシルバー人材センター」をPRでき、実り多い一日となりました。



10月20日(日)、秋冷の微風が吹く天候にもかかわらず、榴岡公園は多くの家族連れで賑わいました。シルバーのブースでは昨年と趣向を変え、こどもに楽しんでいただける輪投げと、センターの認知度アンケートを行いました。

輪投げをしたこどもの「わー入った!」と飛び上がって喜ぶ姿をみて、親御さんも一緒に喜んで写真に収めていました。今回のシルバーブースは家族愛が深まるお手伝いのできたのではと思います。

スタッフもつい熱くなり一緒に万歳をしたりと喜びを分かち合っていたところ、「アンケートはいいんですか?」と逆に聞かれて、慌ててアンケートをいただいた…なんて事も。

盛り上がったブースの様子に、スタッフ一同「やって良かったね」と喜びを噛み締めた、爽やかな一日でした。



10月20日(日)、若林区役所特設会場にて開催されたこのイベントに、昨年よりさらにパワーアップした楽しいシルバーのブースとして参加しました。

今年の目玉は「輪投げを楽しんだこどもにシルバー筆耕班による美しい文字でその場でお名前を書いた表彰状をプレゼント」という初の試みでしたが、大いに盛り上がり好評を博しました。

こどもから大人の方まで来場された皆さんに「これぞシルバー!」という様子をPRできたと共に、筆耕班員も喜んでいたこどもたちから元気をもらい、楽しみました。



10月20日(日)、あすと長町にある杜の広場公園で行われたこのイベントは、毎回盛りだくさんの企画で家族連れをはじめ多くの来場者が訪れます。

今年のシルバーのブースでは、そんな家族連れの皆さんに喜んでいただける企画として、プロのカメラマンとしても活動している広報委員による「家族スナップ撮影～その場で撮影データのプレゼント」を行いました。

溢れる笑顔を引き出したスナップ撮影は、家族の素敵な思い出の一枚として大変喜んでいただき、「シルバー人材センターってこんな事も出来るんだ」というアピールで大いに盛り上がりました。

会員による手作り作品の販売では、世界にひとつの一点ものの作品は、歩いている多くの人の目を惹き、これもまたシルバーらしいPRになりました。

シルボンヌとは…

「シルバー (Silver)」と「女性のお手伝い・親切 (フランス語の bonne)」の意味を合わせた造語。シルバー人材センターで働く女性会員の愛称として、全国のシルバーで使用しています。

石澤 安江 会員

敬老乗車証制度の改正に合わせ、令和6年7月仙台駅構内に増設された期間限定の「敬老乗車証チャージ窓口業務」で就業されている石澤さん。

当初は「ガラス越しにこちらを伺いながら戸惑っていきそうな人に、積極的に声掛けをしたり誘導したりしていました」

しかし「9月になってからは大変。日を追うごとにお客様が増えて、9月末の4日間は怒涛のように押しかけ、全く休む暇もありませんでした」

カードを読み取る機械に差し込み、それに沿って諸々説明するそうですが、「早い方だと5分くらいで納得される一方、仕組みを説明してもなかなか理解していただけなかったり、制度に対する不満やクレームをぶつけられる方もいました」なんて苦労もあったそうです。

シルバーから就業している14人もの仲間がいるとのことですが「連絡帳があって、その日の出来事や対処した方法を、次の人たちと共有しています。午前・午後や状況に応じてシフトで動いており、皆さん月に一度会うかどうかですし、人によって対処の仕方や説明が異なるとまずいので情報共有はしっかりやっています。チームメイトですから」

9月に比べれば、現在は十二分に余裕を持って対応できる状況とのこと。敬老乗車証のチャージをする際は、仙台駅を利用する方はもちろん、駅周辺に御用の際は地下鉄仙台駅構内の「交通局忘れ物センター」となるのチャージ窓口にどうぞお立ち寄りください。



わせき

上関 カル 会員

仕事もプライベートも楽しんでいらっしゃる上関カルさん。

シルバー人材センターに入会して3年、スーパーのカート整理を経て今は清掃の仕事をしています。



一日の始まりは早朝のウォーキングです。季節の彩りを感じながら澄んだ空気は気持ちよく、帰ったらみんなの体操をして就業先へ向かいます。

「午前中の仕事ですが、“きれいに”を心がけ、仲間とも共有の話ができて互いに励まし合い楽しく仕事をしています。規則正しく時間を過ごすことで健康でいられると思います」と話されていました。

そして午後は趣味の時間です。

編み物や折り紙が得意で、家族にはもちろん、お友達にもプレゼントしたら喜ばれるほどの腕前です。

「ついつい没頭して時間を忘れて一日があっという間に過ぎていきます。離れて暮らす家族や友達の顔を思い浮かべながらセーターを編んでいる時が幸せを感じます」とも話されていました。

シルボンヌ全国大会レポート

2024年11月19日、「シルボンヌ全国大会2024in埼玉」が開催され、仙台市シルバー人材センターからも見に行ってきました。

埼玉の女性会員がいきいきとステージ上で輝いていました。そして次回2025年は「仙台」で開催されることが決定しました!

ステージ企画や詳細については今後お知らせしてまいります。

ぜひ一緒に、盛り上げていきましょう!



会員の『声』



私の趣味 ～ ああ楽しやミニチュア作り～ 浅野 武弘 会員

長年勤めた会社を退職し自由な時間が多少出来たので、いかに過ごすか考えた末、以前作ろうと思っていたガンダムのプラモデルを思い出し幾つか製作しましたが、何だかあまり達成感がありませんでした。思えば「プラモデルはできているパーツを組み立てるだけ」で完成してしまうからなのかもしれません。

それなら「イチからできるものを!」と考えた結果、(イチ=土台=建物)だと思い、昔ながらの茅葺き屋根の家を作って見ようと思ったのがきっかけでした。

最初は使えそうな材料集めから始めることにし、あちこちのホームセンターや100円ショップ等を回り、材料を買い集めました。それからどんな形か分からないと困るので、書店に行き「それらしい本」を買い求め参考にしました。そうして作品ができあがった時、プラモデル製作の時とは違い、凄く達成感がありました。

また、「和風の住まいと茶室」と言う本を買い、写真を参考に床の間の部屋なども作ってみました。その他、アクセサリー入れや小物入れ引き出し等も何点か作っています。様々な形・大きさなど、オリジナルの物を作れるのも楽しみの一つです。

今後も、ゆっくり・焦らず自分の発想とアイデア、工夫で色々な大きさ、形の物を作り楽しみたいと思います。

「今度は少しでも良い物ができるように…」と願いながら取り組んでいる今日この頃です。



未経験の仕事も 面白い!

VR貸出窓口業務 吉井 隆 会員

青葉城資料展示館に入ると、「仙台城VRゴー」と背景に大きく描かれたカウンター。「こんにちは」と歯切れの良い声で出迎えてくれたのは、シルバー派遣としてカウンター窓口を担当している吉井隆さん。シルバー世代とは思えない若々しい雰囲気だ。

「仙台城VRゴー」とは、城内8か所の地点で専用のスコープを覗くと、400年前に築いた仙台城の360度パノラマ画像が見られるというもの。吉井さんは、そのスコープの貸出業務に携わっている。

「業務内容はスコープの貸出管理や使い方、コースの説明とか返却機材の清掃ですが、政宗公の銅像や他の城内施設のことも聞かれます。貸出業務以外にはなりますが、今までは直接会話することはなかったもので仕事でお客様と会話しながらやるのがとても新鮮で面白いなと感じています」

未経験の接客業務も楽しさと捉えていらっやった。

海外からのお客様も多く「これがないと…」と笑いながらスマホの翻訳ソフトをこちらに見せる。なんとも前向きな方。

「修学旅行などで、20～30台ずつ貸し出すと、機械ですから足並みが揃わない機材が出たりします。そんな時はちょっと辛い思いですね」と、元エンジニアの吉井さんらしい言葉。

「でもこの仕事は楽しいですよ。機材返却の時に“すっごく良かったです。お借りした甲斐がありました”というリアクションをしてくれる時はやりがいを感じますね。やっている仕事は単調ですが人と触れ合うことがほんと楽しいです」

就業先の大沢慶尋主任からの評価も高く「基本的な業務はもちろん、トラブル処理も的確で、自分で考えて積極的に動いてくれますし、お客様とのコミュニケーション能力もとても高いです。やはり人生経験が役に立っているんだと思います。安心して任せられるので、私は他の仕事に集中できて、本当に助かっています」

経験のない業務の案内だったが、「やってみようか」と引き受けた。結果、吉井さんの口からは「面白い」「楽しい」の言葉が何度もこぼれ出た。“仕事はなんでも受け身ではなくやれば、つまらない仕事は無い”を正に体現している吉井さんだった。



輪通しづくり講師 石川 孝三 会員

正月飾りを自分の手で



活動紹介 //

軽作業チームの 名コンビ

軽作業チーム 西島 正行 会員・阿部 時男 会員

午前10時すぎ、花京院の英国風ティールーム「クランブル」裏手のお庭で、てきぱきと作業をしているお二人。西島正行さんと阿部時男さんのコンビだ。

お二人とも、シルバー人材センターで新しく発足した軽作業チームのメンバーで、簡単な庭の除草や剪定をしている。クランブルの仕事は3回目。他の現場も含めて7回目の仕事とのこと。庭奥で低木の剪定をしていた西島さんから「阿部さん、ちょっと手伝って」と声がかかり「はいよ。」と駆けつけ、西島さんの持つ剪定ばさみが届かない枝を阿部さんが引き下ろし、西島さんをフォロー。なかなかのコンビネーションだ。

西島さん、阿部さん共に作並方面にお住まいでご近所同士。「酒飲み仲間だ」と笑い合うが、よく気の合うお二人のようだ。

もう車の運転は控えている西島さんを助手席に、阿部さんの運転で現場に向かう。

「家でごろごろしているより外で働いている方が健康的だし刺激もある。地元では除草や剪定は普通のこと。日常的にやっているから、この仕事は苦じゃないよ」と西島さん。

「精神的にもたまには外で働いて社会とのつながりは持っていた方が良いよ。けどさ、この歳になると6時間・7時間とかはもうきつくてできないですよ。二人で2時間くらいが丁度いいくらい。だから今回の軽作業チームってのがピッタリなんです」と阿部さん。

逆に短時間だからこそ、お客さんの注文をこなすためには、準備と段取り、役割分担が大切と言う。



「2時間働けばいいじゃなく、2時間で終わらせなきゃいけない工夫です」

「女性ばかりで、庭仕事は体力的に大変です。で大変助かっています。仕事もきちんとしているし、何よりお二人ともいつも元気で明るくて、こちらが元気をいただいています。大満足です」とオーナー様からも嬉しいお言葉が。

剪定が得意な西島さん、除草や下廻り作業をリズムカルにこなす阿部さん。「今度はあの道具を持って行こう、あそこはこうしようとか毎回話合うよ。毎回進歩してるんですよ」とお二人。

お酒飲みながらの反省会か。名コンビである。



仙台市柏木市民センターにおいて、仙台伝統ものづくり塾実行委員会による正月飾りの製作体験会が開催され、講師として石川孝三さんが招かれました。受講者は6名で、12月に本格製作するための指導者養成講座とのことでした。

石川さんは、材料入手の困難等から事業として行われなくなりましたが、かつてセンターの独自事業であった「正月飾り製作」に関わっていました。現在は泉第5ブロック代表として単発の就業や地域のボランティア活動にも関わる傍ら、プライベートではおもちゃを修理する「おもちゃ病院」のサークルにも所属して、手先の器用さを生かして活躍しておられます。

今回の正月飾りは、「輪通し」と言われるもので、主に玄関先に飾る「玄関飾り」や「門松」と共に、特に水回りに飾ってお正月を迎えるという、伝統的なものになっています。

作り方はインターネットでも紹介されていますが、次がポイントのようです。

- ① 稲わらの中から、折れ曲がっていない太めのものを選ぶ。
- ② 霧吹きで水を掛け、小槌で叩いて柔らかくする。
- ③ ヨリをかけながら両手を使いゆっくり絞っていく。

③がなかなか難しく、受講者が一番苦労していました。

皆さんも挑戦してみてくださいはいかがでしょうか(稲藁はホームセンターでも手に入るようです)。





「老後に必要なお金の授業 - 特殊詐欺編 -」

オレオレ詐欺・架空請求・預貯金詐欺などからお金を守る方法を学ぼう

令和6年11月6日(水)・11月21日(木)の午後2時から、仙台市シルバー人材センター本部のある北四番丁ステーションビルにて、SMBCコンシューマーファイナンス株式会社による、啓発セミナーが開催されました。近年増加している特殊詐欺の手口や、その対策について学ぶことができました。

■詐欺の手口と対策を知ろう

近年、特殊詐欺の手口はますます巧妙化していますが、被害者の約98%は60歳以上であり、高齢者は特に狙われやすい状況です。

- 銀行員や警察が電話で暗証番号を聞くことは絶対ない。
 - 還付金をATM操作で返還することは絶対ない。
- これらを覚えておくことで、詐欺に遭うリスクを大きく減らすことができます。

■クイズと実演で学ぶ詐欺の手口

講演中に出題された「詐欺に関するクイズ」では、受講者の正解率が非常に高く、日頃から特殊詐欺に関心を持っている方が多いことが伺えました。また、講師と事務局職員による「預貯金詐欺」の実演では、近年増加している「警察官を装った電話」や「銀行員を装った訪問者」など、複数人が関与する巧妙な手口(通称「劇団型」)が再現されました。その名演技ぶりは受講者にも大変好評で、「とても分かりやすかった」との声が多く寄せられました。

■もしもの時は、冷静に相談を

万が一、詐欺に遭いそうになった場合や被害にあった場合、一人で悩まず、早めに専門機関に相談することが重要です。

- 警察相談専用電話：#9110
- 消費者ホットライン：188

詐欺の手口は年々巧妙化しており、知識を増やすことが最も効果的な防止策です。家族や周囲の人々と情報を共有し、講演で学んだ内容を日常的に実践して、詐欺から身を守りましょう。

■受講者の声 学びを実践に活かす

- 「カードと免許証を一緒に入れているのは危険だと知り、すぐに家族に伝えます」
- 「猜疑心が強いので自信はあるけれど、今後も一層注意を払おうと思います」
- 「知識を再確認できた。こうしたセミナーをもっと開催してほしい」



認知症と向き合ってみましょう

会員の皆さんも予防を心掛けているかもしれませんが、
2025年には65歳以上の高齢者のうち、
5人に1人が認知症になると言われています。

「加齢によるもの忘れ」と「認知症によるもの忘れ」の違い

	加齢によるもの忘れ	認知症によるもの忘れ
原因	脳の生理的な老化	脳の神経細胞の急激な破壊での病気
体験したこと	一部を忘れ、ヒントがあると思い出す	全てを忘れ、ヒントを与えても思い出せない
もの忘れの自覚	あり。進行性がない	なし。進行性がある
日常生活	支障はない	支障がある
具体的事例	電話で話していた相手を思い出せない	電話していたこと自体を忘れている
	旅行に行った場所を思い出せない	旅行に行ったこと自体を忘れている
	入金した金額を忘れてしまった	入金したこと自体を忘れている

認知症の原因となる病気

アルツハイマー型認知症は認知症の原因で最も多く、記憶障害(もの忘れ)から始まることが多く、失語や失認(視力は問題ないが、目で見えた情報を形として把握できない)、失行(今までできていた動作を行えない)、見当識障害、判断力障害、性格変化、実行機能障害が目立ち、徘徊、介護抵抗、暴力・暴言、無為・無反応、失禁・不潔行為などの行動症状も見られます。

認知症の予防とは

認知症にならないということではなく、なるのを遅らせる、なっても進行を緩やかにすることです。

日常生活において注意すること

1. 生活習慣病(高血圧、糖尿病、脂質異常症)との関係があるので、生活習慣の見直しと改善に心がける。
2. バランスの良い食事を心がける。
3. 定期的な運動習慣を身に付ける。
4. ロコモやフレイルを予防する生活習慣を確立する。
5. 定期的な検診でセルフチェックを心がける。
6. 社会活動や余暇活動も自分に合った習慣、活動を維持して心身の健康維持に努める。

(公社)宮城県シルバー人材センター連合会 仙台市事業所 令和6年度第5回衛生委員会の資料から。

センターでは令和6年6月に、「社会福祉法人 東北福祉会 認知症介護研究・研修仙台センター」との共同研究、共同調査として、会員の皆さんに向けてアンケートを実施しました。

⇒ アンケート配布数 2,871名(全会員)

⇒ アンケート回収数 1,207名(42.0%)

研究結果がまとまり次第、発表予定です。

ご協力ありがとうございました。

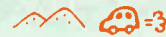
ロコモ？ フレイル？

調べることが予防への第一歩です！

検索 🔍



仙台いいどろ 行ってみっぺ!



仙台市内には著名人有名人の銅像がたくさんあります。
仙台市内をゆっくり散策しながら、銅像となった人物に思いを馳せてみてはいかがでしょうか!



●土井 晩翠先生 胸像

仙名城跡に仙台市を見下ろすように、「荒城の月」の作詞者として有名な詩人・英文学者「土井晩翠」先生の胸像が設置されています。

明治4年仙台市北鍛冶町に生まれ、同11年現木町通小学校に入学後、立町小学校に転校、仙台英語学校、旧制第二高等学校を経て同30年東京帝国大学英文科を卒業、同33年に母校二高の教授として帰仙しました。その間、同31年に不朽の名作「荒城の月」を作詞発表、続いて第一詩集「天地有情」を処女出版、後に6つの詩集や数多くの随筆などを出版し、島崎藤村と並び称せられました。



晩翠草堂

日本芸術院会員、仙台市名誉市民となり、昭和25年文化勲章を授与されて、同27年晩翠草堂で情熱の詩人としての81年の生涯を閉じられました。

荒城の月は、東京音楽学校から「中学唱歌」に載せる作詞依頼があり、旧制二高時代に修学旅行で訪れた会津若松の荒れ果てた姿の鶴ヶ城と青葉城址であると回顧しています。

(参考: 青葉城跡の土井晩翠碑、河北新報 令和5年4月11日掲載)



●八木 久兵衛翁 胸像

八木山動物公園正面入り口に八木山開拓の祖及び仙台経済界のリーダーである第5代目「八木久兵衛」翁の銅像が設置されています。

八木家は化粧品などを商う「紅久」という店でしたが、弘化2年生まれ、第4代目久兵衛が味噌と醤油の製造と販売に人一倍努力を重ね、特に味噌醸造機械を考案して専売特許権を得て大量生産することに成功し、八木家の醸造業を大きく発展させただけでなく、日本鉄道への投資によっても利益を得て資産を増やしました。久兵衛は市議員、仙台商業会議所会頭や七十七銀行

頭取等に就任し、仙台経済界のリーダーとなりました。翁はその資産を公共のために提供することを惜まず、仙台市が進めていた市電建設への寄付や荒廃していた越路山の総合開発を企画し、5代目久兵衛は、昭和初期から八木山一帯の公園整備から住宅建設と開発を進め、昭和4年には私財を投じて八木山球場を作り、野球場を含む一帯を仙台市に寄進しました。これが現在の八木山動物公園一帯の地となっています。

(仙台商工会議所広報誌月報 平成25年6月発行「飛翔」 明治実業家列伝®より引用)

互助会の サークル活動紹介!!



仙台市シルバー人材センター互助会は、会員相互の親睦交流を深めるため、サークル活動による仲間作りを推進しております。

本部（青葉区、宮城野区、若林区、太白区）の会員が所属する「中央互助会」には9つ、北部支部（泉区）の会員が所属する「北部支部互助会」には7つのサークルがあります。センター会員や互助会の趣旨に賛同する一般の市民の方は、いずれのサークルにも参加可能です。さらに、新たなサークルの立上げも支援しております。

以下の一覧表は、令和6年9月現在のものです。詳しくは、お問い合わせ先にご連絡ください。

中央互助会 ●お問い合わせ先● 090-3364-6334（会長 佐藤忠雄）

サークル名	代表者名	活動状況
囲碁将棋	伊藤 公一	・入会金 年会費無し、参加毎に100円 ・場所:千葉会館 ・毎週月曜日 10時～15時開催
カラオケ同好会	渡邊 光雄	・入会金1,000円、月会費1,200円 ・場所:千葉会館 ・毎週火曜日 10時～15時開催
手作り草履班	品川 達子	・入会金 年会費無し、参加毎に100円 ・場所:千葉会館 ・毎週月曜日 10時～15時開催
切り絵	富田 弘	・入会金 年会費無し、月会費参加毎に500円 ・場所:千葉会館 ・毎月第2・4水曜日 10時～15時開催
クラブ雀研ポン	柴田 久夫	・入会金 年会費無し、参加毎に100円 ・場所:千葉会館 ・毎月第2・4金曜日 10時～15時開催
ボウリング愛好会	佐藤 忠雄	・入会金 年会費無し、参加費1,380円(ゲーム代実費) ・場所:ラウンドワン ・毎月第2月曜日 14時～15時30分開催
ゴルフ愛好会	加藤 育夫	・年会費1,000円 ・コンペ参加費1,000円 ・毎月第4水曜日 または木曜日開催 ・プレー費実費
芸能一座	佐山 暢一	・入会金 年会費無し(別途活動費有) ・年1回発表会開催 ・協力金2～3,000円徴収
60歳からのピアノ	渡邊 美子	・入会金2,000円 ・参加費1回1,000円 ・月2回月曜日が木曜日 13時30分～14時30分

北部支部互助会 ●お問い合わせ先● 022-375-1370（担当者へ取り次ぎます）

サークル名	代表者名	活動状況
シルバーゴルフ愛好会	水戸 宗男	・年会費3,000円 ・コンペ参加費1,000円 ・年間10回の競技会を開催 ・プレー費実費
麻雀愛好会	中久保 正男	・年会費1,000円、入会金1,000円、参加費2,000円 ・場所:主に将監市民センター ・毎月下旬9時～15時開催
いきいきカラオケ同好会	赤川 清	・入会金1,000円、月会費1,000円 ・場所:主に将監市民センター ・毎週水曜日の13時～
シルバーパークゴルフ愛好会	餘目 祐三	・入会金1,000円、次年度年会費500円、コンペ参加費600円 ・年間8回程度開催 ・プレー費実費(500円～700円)
シルバー健康麻雀クラブ	中館 純子	・入会金 年会費無し、参加毎に500円 ・場所:高森3丁目集会所 ・毎月第1日曜日 9時～14時開催
シルバー散策会	伊藤 良功	・入会金 年会費無し、参加費別途 ・低山散策、史跡探訪、寺社仏閣巡り
シルバーグラウンドゴルフ愛好会	橋本 富士夫	・年会費500円 ・場所:シェルコム仙台 ・毎月第1木曜日 9時～12時開催 ・プレー費実費(500円)

事務局からのお知らせ

安全・接遇研修会の開催のお知らせ

新しい年を迎え、ますます元気に活躍する会員の皆さんに、より安全に、よりお客様に喜んでいただける仕事をできるようになるための研修会を開催致します。

参加ご希望の方は

- Smile to Smileのお知らせ
- センターホームページよりEメール
- お電話にて本部(022-214-6262)へお申し込みください。

■ 日時 令和7年1月23日(木) 13:00～15:00(受付12:30～)

■ 場所 仙台銀行ホール イズミティ21小ホール(予定)

■ 内容 ●安全について

「交通安全座学講習会～交通事故に遭わない、起こさないために～」

●接遇について

「事例から読み解く接遇マナーについて」

★参加者には
50ポイント
付与します!

令和6年分の「配分金 支払証明書」の送付について

令和6年に配分金をお支払いした会員の方に令和7年1月末頃までに、令和6年分の『配分金 支払証明書』の送付を予定しております。確定申告の際にご使用ください。



フリーランス法への対応について

事務局だよりでも概要をお伝えしていたフリーランス法が、令和6年11月1日に施行されました。

これに伴い、11月から請負・委任の形態により就業する会員の方へ仕事の内容等(業務内容、報酬額、支払期限その他事項)を記載した就業条件を明示しています。

① 新規契約の場合

- (1) 「Smile to Smile」登録者⇒「Smile to Smile」機能を活用して「就業条件」を明示。
- (2) 「Smile to Smile」未登録者⇒紙(手渡し又は郵送)もしくは電磁的方法(メール、FAX)にて「就業条件」を明示。

② 現在契約中の場合

フリーランス法施行日以降の契約が「就業条件」明示の適用対象となるため、対象外となりますが、令和7年度の契約更新時期(2～3月)に以下の対応を行います。

- (1) 「Smile to Smile」登録者⇒Smile to Smile機能を活用して「就業条件」を明示。
- (2) 「Smile to Smile」未登録者⇒紙(手渡し又は郵送)もしくは電磁的方法(メール、FAX)にて「就業条件」を明示。

※「Smile to Smile」機能における就業条件明示の確認方法等「フリーランス法対応マニュアル」を「Smile to Smile」のお知らせに掲載していますので、見方がわからない方はマニュアルをご参照ください。また、サポート窓口(本部:214-6262)もございますので、ご活用願います。

フリーランス法が施行されても、会員の皆様とセンターの関係は変わりません。お仕事の内容や報酬(配分金)の支払いもこれまで通りですので、安心してお仕事に就いていただけます。

行政区別ブロック代表・地域班長合同会議について

11月6日(水)から28日(木)にかけて、行政区別ブロック代表・地域班長合同会議を開催しました。

今回の会議では、「地域班の在り方・必要性について」というテーマで、地域班長、ブロック代表の皆さまから率直な意見を伺う場となりました。班長のなり手がなく休止状態の班もありますが、情報共有や親睦の機会として地域班は必要であるという意見もあり、会員同士のつながりをつくる大切な場となっていることも感じられました。

今回いただいた意見を参考に、組織部会を中心として、今後の地域班の方向性について検討を進めて参ります。

ポイント交換について

■ポイントの交換申請について

- 貯まったポイントは、年会費の割引にご利用できます。
1ポイント1円で計算し、500ポイント単位で年会費を割引いたします。
- ポイントの年会費への交換は、自動的に行われません。事務局へ申請手続きが必要です。

■ポイント交換の手続きについて

【申請方法】

所定の様式(別表3ポイント交換申請書)を事務局へ提出(持参、郵送、FAX、メール等)

<様式はセンターのホームページからダウンロードできます>

【申請期限】令和7年度分の年会費の割引を交換希望の方は

令和7年4月25日(金)までに申請書を事務局へ提出してください<必着>。

年会費控除の作業手続きのため、4月25日が申請期限となります。
派遣契約で就業されている方、配分金から年会費の控除をされていない方、5月にお支払いする配分金のない方も、申請期限は4月25日です。

申請後、事務局でポイント数を確認し、不備な点等がある場合はご連絡します。

■獲得したポイントの確認方法について

- 「Smile to Smile」のデジタル会員証ページで獲得したポイント数を確認することができます。
※デジタル会員証へのポイント数の反映は手動でデータ更新しておりますので、地域班会議などに出席したポイントは、反映されるまで時間がかかります。予めご了承ください。

会員専用サイト「Smile to Smile」の登録のお勧めについて



登録すると、パソコンやスマートフォンから会員専用サイトへアクセスできるようになり、就業情報や配分金明細書を常時閲覧することができます。

登録を希望される方は、センターから「ログインID」と「初期パスワード」をお渡しいたしますので、お申し出ください。

就業情報の閲覧だけでなく、ご自身で希望の仕事にエントリーができますので、是非この機会にご登録をお願いします!

また、「Smile to Smile」に登録し、配分金明細書の送付を希望しない方には300ポイントを付与しております(ポイントの付与は1回限り)。

※すでに Smile to Smile に登録している方で、配分金明細書の送付を希望されない場合は、再度 Smile to Smile 利用申込書の提出が必要です。

会員の『声』募集します!

会員の皆様から、次号のシルバー仙台第59号へ掲載する記事(皆様のお声)を募集します。

●私の趣味・特技 ●私の推し活 ●旅行などの体験記
…などなどテーマは自由です!

字数は300字程度、掲載してほしい画像がある場合には、下記メールアドレス宛に添付してください。

応募期限は令和7年4月1日、原稿への会員番号、ご氏名の明記をお忘れなく!

※ご応募いただいた原稿の返却はいたしません。また、ご応募いただいた皆様の記事が必ず掲載されるとは限りませんので、ご了承ください。

※掲載に際しては、文意の変わらない範囲で編集することがあります。

FAX / 022-214-6264

メールアドレス / sendaisc@sjc.ne.jp

担当 / シルバー仙台 会報編集担当



58号・編集委員から

- シルバー人材センターには、様々な特技や趣味を持った方々がおられます。自分の自由な時間が増えたこの機会を捉えて、新たな生きがいを求めている人々を紹介することも広報の役割の一つと考えております。(吉田)
- 編集委員や職員の方々のアイディアは私の馬齢を重ねた脳の活性化となっています。今号はそのアイディアを生かした新しい構成と内容となりましたので、是非お読み頂ければ幸いです。(竹野)
- 今号に限ったことではありませんが、投稿して下さった会員の方々の、年齢を全く感じさせない物の考え方や行動力に、大きな感動を覚えます。「そういう考え方があるのか」「そんなやり方もあるのか」という情報に、「もっとアクセルを踏んでみよう」「負けてはいられない」という気分になりました。(富樫)
- ここに会報58号を発刊できたことは大変嬉しく、編集委員の方々には助けて頂きながらの活動でした。広報を通して多方面で活躍している会員の方たちにも出会うことができ貴重なお話を聞くことができました。令和7年も会員皆様にとって健やかで輝かしい1年になりますよう願っています。(今野)
- ご夫婦の会話が耳に入った。「息子より俺の方がモテる」と言う夫。「そお、良かったね」と妻。それは妻のご慈悲だろ、と思いつつ、「あんたより俺の方が…」と思いかけて我に帰る。お互い元気だが「たわけもの」である。(板垣)
- 初めての広報活動は、お祭りでチラシ配りや子どもたちと輪投げを楽しみながらPRを行い、講演会の取材など普段はできない貴重な体験となりました。この広報誌が皆様の新しい挑戦や交流のきっかけとなれば幸いです。(大内)

シルバー仙台 第58号 令和7年1月発行

編集長 吉田 広一

第58号編集委員 竹野 義信・富樫 暁・今野 とみ子・板垣 昌孝・大内 悦子

発行所 公益社団法人仙台市シルバー人材センター

〒980-0802 仙台市青葉区二日町14-4 北四番丁ステーションビル4階

TEL 022-214-6262 FAX 022-214-6264

E-mail sendaisc@sjc.ne.jp HP <https://webc.sjc.ne.jp/sendaisc/>

印刷 株式会社仙台紙工印刷

